



南国市既存事業一覧表 (No.1)

<p>福祉事務所</p>	<p>・保育所給食 保育所給食は、「健康な体力づくりをする」を基本目標とし、年間実施目標をもとに取り組んでいる。 献立作成には、季節感や彩り、料理の組み合わせ、子どもの嗜好等を考慮し、また、食べさせたい料理や職員の声も取り入れながら、いろいろな食品を食べる経験が出来るように努めている。</p>	<p>保健課</p>	<p>・配食サービス事業 高齢者の自立と生活の質の向上を目的として、在宅高齢者の食の確保と安否確認を図るために、食材の確保や調理が困難な高齢者に対して定期的に栄養バランスのとれた食事（お弁当）を提供している。</p>
<p>市内保育所・園</p>	<p>・給食での取り組み 食材を地元の業者から仕入れ、旬や地産地消に心がけた食材の調達をしたり、噛むことを大事にした食材（じゃこ・するめ等）選びをしている。また、化学調味料の使用や塩分量に気をつけ、加工食品や冷凍食品を使う場合でも工夫した調理を心がけている。 おやつに関しては出来る限り手作りの物を出すようにしている。</p> <p>・活動の中で 菜園活動（さつまいも等）を行い、収穫したものは給食やおやつに使ったり、調理体験を行っている。また、調理体験時には衛生面の指導も行っている。 給食の展示をすることによって食に対する興味や関心を育て、料理活動への意欲を高めたり、教材として食育えほん・食育かるたの活用等も行ったり、早寝・早起き・朝ごはんのキャンペーンソング作詞に応募し、高知県保育所保護者連合会会長賞の受賞（十市）など多岐にわたり活動を行っている。</p> <p>・保護者に対して 給食試食会や展示を行い、その日のメニューを展示することで彩りや量・食材を目で見て知ってもらうと共に、保護者と職員との対話を大事にしている。また、保護者同士の交流も図っている。 給食便りを通して、食に関する子ども達の姿や行事や、食事のしつけやマナーについて健康な身体を保つための情報、旬の食材をつかった給食のレシピを紹介している。</p> <p>・地域の人との交流 地域の人を招き、食事やおやつ等を作って一緒に食べたり、農学部でのミカン狩りや、園に良心市を設け、保護者、祖父母などが自宅で収穫したものを提供したり、食生活改善推進委員と地元の食材を使った調理活動などを通して地域の人との交流を大切にしている。</p> <p>・伝統的な食事に関わる体験 七草がゆ作り・ヨモギ団子作り・どんど焼き・お餅つきを行ったり、地域の祭りである「えんこう祭り」（大湊）を園で行っている。</p>	<p>委員会 農業</p>	<p>・特になし（適正な農地行政） 特記事項としては、食糧自給率向上のために、適正な農地行政に努め、優良農地の確保と効率利用を進めている。</p>
<p>農林課</p>	<p>・地産地消促進事業（学校体験農業学習） 市内の小中学校を対象とし、学校近隣の農地を借りて稲作・畑作などの体験農業学習を実施し、地産地消のPRを行う。 体験農業学習に関する一部費用を補助している。</p> <p>・地産地消促進事業（南国市こめ地産地消の会） 地域に根ざした持続的な米の地産地消の活動を通じて、地域づくりを促進することにより、南国市の米地産地消を推進することを目的に会を設立し、地場産米の消費拡大を図るためにPR活動を行ってきている。</p> <p>・山村振興等農林漁業特別対策事業（農林水産物直売・食材供給施設） 中山間地域で生産された農産物などを、直販施設や食材供給施設（具体的には、道の駅南国 風良里 の市及びレストラン）により流通ルートに乗せ、地域特産物の新たな需要を図り、地域意識高揚および活性化を図る。</p> <p>・南国市こうち農業確立総合支援事業 直販店の販売状況を迅速に生産者に伝え、商品管理を的確に行い顧客の拡大を図るために、直店情報システムを導入する。 販売情報を一元管理し、携帯電話・パソコンにより生産者に販売情報を発信している。</p>		
<p>協議会 社会福祉</p>	<p>・ふれあい給食事業 関係委員・ボランティア等の連携を図り、独居高齢者等への支援を行う。 ふれあい給食の調理・配食を通じて、見守り活動等地域ネットワークが形成されるとともに、高齢者の食生活の改善が図られている。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>・生涯学習まちづくり事業 食育は、ボランティア活動などの社会参加・地域活性化・世代間交流などのすべてに関わる分野として、上記要素も含んだ講座を実施している。 （一例として「農業高校開放講座」などがある。）</p> <p>・南国市連合婦人会 婦人会活動 その道に長けた会員等を講師に婦人学級を開催し、技能の継承により地域の活性化を図っている。 その中では一例として、親子料理教室なども行われている。</p> <p>・南国市立岡豊ふれあい館 公民館事業 地域にある大学と連携し、お互いの発展と貢献のために、健康講話を2ヶ月に1回開催している。（取り上げられたテーマの一例として「メタボリックシンドローム」がある。）</p>

南国市既存事業一覧表 (No.2)

幼稚園・学校	<p>・学校栄養士による栄養指導 小学校では、栄養の偏りのない食事を楽しくとすることが心も体も健康にすること等をわかりやすく指導している。</p>
	<p>・栄養教諭による指導 小学校では、栄養教諭による5分間指導を行っている。 また、学年や季節に応じた授業も行っている。 (内容一例として、「朝ご飯の大切さを知ろう」があげられる。)</p>
	<p>・食教育(食農教育) 小学校では、地域の農家と連携をし、棚田を見学したり、農作業の体験をしたり、学校菜園で収穫した農作物を調理し食するなどの取り組みをしている。 幼稚園では、家庭で親子による野菜作りをする取り組みを行っている。</p>
	<p>・保健給食委員会による取り組み 保健給食委員会が、添加物に関する実験を行い、全校集会で発表するという取り組みをしている小学校もある。</p>
	<p>・地域・環境学習 「共に生きる」ことを学習の主眼として、食や環境に関するフィールドワークを行っている小学校もある。</p>

学校教育課	<p>・栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育推進事業 南国市立後免野田小学校(栄養教諭配置)が文部科学省の指定を受け、年2回開催される南国市食育検討委員会で、後免野田小学校の取り組みを全市的(全小学校)に広げるように努める。</p>
	<p>・新しい学校づくり推進プロジェクト事業 南国市教育委員会が食育の実践等特色ある学校3校を指定し、予算補助を伴う事業。</p>
	<p>・南国市食育フォーラム2007 学校・家庭・地域関係者を含めた約400名規模のフォーラム。今年で第7回目を迎える。</p>
	<p>・食育推進ポロシャツの普及 こめお&まいをデザインとしたポロシャツの普及。</p>
	<p>・米づくり親子セミナー JA南国市主催事業で管内小学校が輪番で学校給食米井棚田での田植え・稲刈り体験学習。今年で10年目を迎える。</p>
	<p>・中・高連携事業(茶摘み) 高知農業高校と管内中学校との茶摘み体験を通じた連携事業。</p>

保健福祉センター	<p>・これからママ・パパの集い(両親教室) 妊娠中の母親・父親の交流と育児への準備・相談①リラックス法 ②母乳について ③先輩ママ・パパ・赤ちゃんとの交流、歯の健康チェック ④沐浴実習と妊婦体験②の回において、助産師と栄養士が「妊娠中の食生活による母胎と胎児への影響」や「体重増加・貧血」などについて話す。</p>
	<p>・ゆうゆう赤ちゃん～離乳食講習会～ 赤ちゃんの成長段階に合わせた離乳食の形態と味付けを知り、実際に調理するきっかけづくりとなることを目的とする。離乳食のすすめ方の説明と調理実習。対象は離乳食初期と中期に分かれており、4種類ずつの献立を実習する。</p>
	<p>・乳児健康診査 乳児の疾病の早期発見、保護者への育児サポートを目的とする健康診査。4ヶ月児と10ヶ月児を対象に、栄養士による離乳食のすすめ方の説明、保健師による問診、医師による診察、歯科衛生士による歯科指導、保健師・助産師・栄養士による育児相談(栄養・生活リズム含む)を行う。</p>
	<p>・幼児健康診査 幼児の疾病の早期発見、保護者への育児サポートを目的とする健康診査。1歳6ヶ月児と3歳4ヶ月児を対象に、保健師による問診、医師・歯科医師による診察、保健師・助産師・栄養士による育児相談(栄養・生活リズム含む)を行う。</p>
	<p>・食生活改善推進事業(食生活改善推進協議会) 食生活改善推進員が料理教室や各種イベントでの試食、地域での伝達講習を行うことにより、生活習慣病予防食の啓発・普及を図り、地域に健康づくりの輪を広げる。</p>
	<p>・ヘルスアップ大作戦(生活習慣病予防教室) 市民対象の基本健康診査受診者で、高血圧・糖尿病・高脂血症の項目で要注意・要観察となった者に一般公募市民を加え、生活習慣病予防教室を行う。食事・運動・休養について学び、生活習慣を見直すきっかけづくりとする。</p>
	<p>・精神ミニデイケアにおける料理教室 精神ミニデイケア(精神障害者の集いの場)において、生活力の向上を図るために行う料理教室。</p>
	<p>・生活機能評価(介護予防) 基本健康診査の場において、65歳以上を対象とした高齢者生活機能評価において、①体格指数(BMI 18.5以下)②問診項目(半年以内に体重が3kg以上減少)③アルブミン値(3.4以下)の3項目のうち、2項目以上の該当者に対し、低栄養予防の指導を行う。</p>